

[特集1]

手話がつなぐもの

[特集2]

いつか来る、 “その時”のために

[インタビュー]

車いすラグビー日本代表

中町 俊耶

[パリで掴んだ金]

【今月の表紙】 10月3日の「手話ベリマーケット」にて、ドーナツやハンバーガーを提供する「ラス・フィンカス」さんのキッチンカー前で、「I Love You」の手話をやってもらいました。ラス・フィンカスのご夫婦はカナダのケベック州の手話で表現しています。妻のマリルさんは健聴者で、夫のマキシムさんは聴覚障がいがあるというお二人。カナダに住んでいたころ、マリルさんのお店にマキシムさんが出入りしていましたが、当初は、マキシムさんが聞こえないことを知らなかったそうです。ある時、マリルさんは手話を勉強しようと思いつき、マキシムさんに覚えてたの手話で話しかけたところ、「彼の目がキラキラと輝いたの！それが二人の出会いです」と話してくださいました。